

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第5回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

・各分科会における審議の状況について

3 開催日時

令和5年8月29日（火）午後6時30分から午後7時50分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）、
谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、松澤優作、丸山佳子、吉田 実（副会長）、
吉田義昭、渡邊康子、渡部忠行（欠席3名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【渡邊係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

- ・挨拶

【渡邊係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

・会議録の確認：松澤委員に依頼

次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

市では、通年観光の計画を今年度中に取りまとめることとしている。春日区地域協議会では、観光分科会で意見書を作成しているが、機を逸することなく良いタイミングで意見が担当課に伝わるよう、市の担当課である魅力創造課と文化行政課に観光分科会への出席を依頼し、作成中の意見書案の内容を事前に伝える場を設けることとした。今週の9月1日金曜日に予定しており、正副会長と観光分科会で対応することを報告する。

【太田会長】

次に、自主的審議事項の今後の進め方や町内会長連絡協議会との意見交換の実施方法について、正副会長と事務局で事前に打合せを行った。結果を事務局から報告する。

【渡邊係長】

現在、各分科会では、目的・目標となる事業が達成または達成される見込みであり、まとめの段階にきている。このまとめた上でのゴールが整理されていないため、正副会長と事務局で今後の進め方について協議をした。

安全・安心分科会は防災士会春日支部の設立、福祉分科会は実行委員会を立ち上げて、いきいき春日野ふれあいコンサートを実施することができ、現在はそれぞれの団体が独立して自主的に活動されている。どちらも大きな成果が得られたといえる。

それぞれ年間スケジュールのとおりに進捗しているが、観光分科会の意見書については、作成に時間を要するものであり、協議会として意見を整理し、合意形成に向けて、後は全体会で協議を進めていくという段階である。

については、年間スケジュールのとおり各分科会を8月で終了し、これまでの意見と実績は事務局で整理し、今後、観光の意見書について全体で協議することとしたい。

また、今後予定している町内会長連絡協議会との意見交換会については、まず町内会長連絡協議会の正副会長に観光の意見書案について説明することと、昨年度は町内会長へ地域協議会の意見を伝える場としたので、今回は、町内会から地域協議会に対する意見をお聴きする場としたい。なお、全体での意見交換会は、正副会長との意見交換の結果を踏まえて、必要に応じて開催することとしたい。

ただし、分科会で、これまで町内会長連絡協議会へ依頼したい事項、意見をお聴きしたい事項があれば、協議事項として取り扱いたいと思う。内容については、地域協議会の正副会長で事前に精査し、協議事項とするか否かを判断する。

先月の地域協議会では、正副会長と分科会リーダーが町内会長連絡協議会の正副会長と協議とするとしていたが、分科会リーダーについては、分科会として意見がある場合のみ出席していただくこととしたい。

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【松澤委員】

このまま春まで各分科会で議論を続けても、また次の成果が出せるかどうか、残りの期間を考えると不透明なところもあるので、ある程度区切りのよいところで、また各分科会ではなく全体で考えていくことに賛成だ。

【岡本委員】

残りの期間とかけられる時間等を考えると、これから新たにというのは時間的に厳しい。全体で総括しながらまとめ、次につなげていければよいと思う。

【太田会長】

分科会のリーダーには後ほど意見を伺う。

ここで一つ区切りをつけて、次期委員の引き継ぎ資料の作成と、観光の意見書をまとめ、早いうちに市に提出するということで進めたい。

他に意見はないか。

【渡部委員】

タイミング的に仕方ないと思うが、個人的には分科会の解散は賛成できない。自主的審議事項の「安全・安心に暮らせる」、「あらゆる世代が心豊かに暮らせる」が達成されていない。今後、数か月やっても終わらないので、次の委員へ申し送りをするしかない。安全・安心については、一人暮らしの高齢者に対してとか、あらゆる世代が心豊かにとか、そのような方向から考えたときに、まだ我々で気がついていないところがあると思うので、渋々賛成である。

【太田会長】

分科会としてではなく、次期協議会委員への引継ぎ事項としての課題だと思う。一人暮らしの高齢者の安全確保、安全確認については防災士会の時にも話が出たが、そうい

う課題は、まだまだ多くある。分科会ごとの活動は一区切りとし、この三本の柱の中で、やり残した部分を協議して引き継いでいくというやり方もあると思う。

他に意見はないか。

意見が無いようなので、各分科会リーダーの発言を求める。

○観光分科会

【吉田副会長】

意見書（案）を事前に配布してご覧いただいている。内容の概略だけ説明し、終了後、質疑等に応じる。

- ・意見書の説明（提出予定の8件について説明）
 - 1 インフラ整備（春日山周辺の道路、駐車場等）
 - 2 フラワーパーク（監物堀や史跡保存エリアの活用）
 - 3 春日山観光ビジターセンター（埋蔵文化財センターの用途変更）
 - 4 モノレールの敷設（愛宕山公園から大手池公園の間）
 - 5 春日山楽市楽座（春日山周辺）
 - 6 銘菓、特産品の開発（春日山城や上杉謙信に因む）
 - 7 謙信公を題材とした芸術の創出（歌曲や演舞、紙芝居）
 - 8 観光サービスの充実（観光ガイドや上杉軍の編成）

【太田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【谷委員】

愛宕谷公園はどこが管理しているのか。

【吉田副会長】

わからない。

【谷委員】

次に、春日山城跡の本丸の写真が掲載されたページの「⑤予想される効果」に「監物堀は発掘による調査で復元が可能であることを教えてくださいました。」と書いてあるが、どこが教えてくれたのか。

【吉田副会長】

ものがたり館のところを発掘し、復元されていること自体が教えてくれたということになる。

【谷委員】

謙信公の銅像について、どのような経緯であの場所に設置されているのかを知りたい。文化財に関わる規制があっても建てることのできる可能性があるのなら、他にも可能性が広がると思う。

【吉田副会長】

銅像は無断で設置され、文化庁から注意を受けたと聞いたことがある。大河ドラマ「天と地と」の頃に設置されたものであったと記憶している。

【本多委員】

「天と地と」の放映が終わった頃に設置され、川中島の方を向いているという話は聞いたことがある。

【谷委員】

春日山をPRする写真にあの銅像が一番使われている。当時は大変だったと思うが、今はそれを有効利用している。同様にフラワーパークの構想を進めてもらいたい。

【本多委員】

春日山城跡は史跡なので、何かする場合は文化庁の許可がいると思う。意見書の提出後、市が許可しても、文化庁の許可が下りないのではないかと心配だ。

【吉田副会長】

意見書の提出後、市の担当課で検討し、採用する提案については、担当課が具体的な計画を作り、県や国へ相談に行き、許可をいただくという手順である。

観光庁のレガシー形成事業で「春日山城の復元事業」が挙げられているが、山の復元は難しいのが現実であり、監物堀と土塁の全体を復元する提案とした。私たちが提案をして市が計画を作り、採用後は市が具体的に動いて許可等を取り、予算付けをしていくということである。

【本多委員】

土砂崩れがあり、気になったので質問した。

【吉田副会長】

施工方法も許可を取っていると思う。

【本多委員】

表面に施工したことがわかるようでは駄目だそうで、全部埋め込んでわからないようにすると聞いたことがある。

【太田会長】

他に意見はないか。

【市川委員】

文化庁から遺跡を構ってはいけないということで、全く手が出せないのが現状だと思う。5、6年前、春日山城跡保存整備促進協議会の前会長と国会議員で文化庁に申請に行ったが、その後は全く音沙汰がない。謙信公の銅像のように問題になると大変なので、どこでどのような許可が得られれば実現できるのか、確認してからでないと市に意見書を出しても無理ではないか。駐車場整備も以前から意見が出ているが、なかなか厳しいのがここ数十年の現状である。まず、どこに申請して、どこがネックなのかを調べて、協議してからでないと潰されてしまう。よくまとまっている意見書なのに、全くできなければ市に提出しても意味がない。

【吉田副会長】

私たちは、構想を提案するだけでよい。実現可能かどうかは、市が検討する。だから、資料の意見書は、改善の項目と概要だけを示している。駄目な提案なら却下される。市が検討するので、心配しなくてよい。監物堀の復元などは、ものがたり館のところを発掘して、復元した実例があるので、可能と判断し提案している。何の根拠もなく行ったわけではない。

【渡部委員】

私たちは、地域住民が考えている提案内容を伝えるだけである。市長からは、きちんと答えてもらわなければならない。例えば、私は、草刈りを担当しているが、何か花を置いたらよいと思う。それを意見書の形にすると、市はちゃんと答えなければならない。モノレールは簡単にできないと思うが、要望は伝えないと進まない。それに対してレスポンスしてもらえる。そこに意見書を出す意義があると思う。

だから、夢みたいなことをどんどん入れた方がよいと思う。できないものについては、理由を付けて市から回答が来る。それは納得せざるを得ない。私はそういうふうに理解して、分科会に参加させてもらっていた。

【谷委員】

意見の提出もよいが、地元が盛り上がるような努力が必要だ。提案だけして、市に任せるのではなく、本当に地元としてやりたいことは何なのかを踏まえて、地元が頑張っ
て提案していけば、市や国の受け止め方も変わってくる。分科会で協議しているものの、

地域の盛り上がりは今一つで、地域に浸透しているかと言えば、なかなか厳しい面もある。だから、地元が声を大にしていかないと駄目だと思う。本当にやりたいことであれば、受け止め方も変わってくる。頑張ってもらいたい。

【吉田副会長】

地域の意見・要望ということだが、これからのステップとしては、地域協議会で内容の了解が得られたら、町内会長連絡協議会の役員と懇談し、必要に応じて全体の情報交換会を開催し、了承の上で提案していくこととなる。

私案としては、春日謙信交流館で地域協議会の取組を報告し、意見を聴く場を設けたいのだが、時間もないので、とりあえず町内会長との懇談の場を設け、検討していただきたいと考えている。

【吉田義昭委員】

意見を市に提出すればよいと言うが、きちんとした資料を作り、我々も研修に行き、それを意見書にまとめたことを考えると、返答も大事だと思う。これを次の委員に引き継いで、何が問題なのかをクローズアップし、それを潰すような形で議論を進めてもらえばよい。例えば、春日山でマラソン大会をするには、人が集まる場所が必要で、より広い駐車場も必要だという形で整理していけばよい。それを市にぶつけたら、どういう回答をするか。そういうキャッチボールができる体制をとった方がよいと思う。

【太田会長】

意見書はまず、地域協議会の考えを文書にまとめて、市長に提出する。現実的に実施できない部分が多くあり、この理由で今は難しいというような返答が来ると思う。それを受けて、現委員が次の段階を議論するのはなかなか難しい。次期委員からこれに興味を持ってもらい、そういう市の回答ならば、そこを潰してまた内容を考えたり、この理由でできないと言ったところを解決したりして、もう一度、意見書を出すのでまた検討してほしい、というようなキャッチボールが何回かできるとよい。

市長も通年観光の取組で春日山に重きを置いているので、地域の声はすごく大事なところだと思う。その辺のキャッチボールが上手くできるようなきっかけの一つが意見書だと思うので、投げっ放しではなく、問題解決しなければならないところを潰して、また投げていくぐらいのものができればよいと思う。最初から100%やれるような状態で意見する方法もあるが、まずはこちらの夢を語り、これは難しいと返ってきたものに対して、こうすればできるという形でやっていくのも一つだと思う。

これだけの資料をまとめていただいて、春日区の協議会を含め、ここの住民はやっぱり春日山のことを考えているなという思いを伝えるのが大事だと思う。皆でまとめて、良いものを作っていくために、いろいろな意見をいただきたい。

【吉田副会長】

この意見書案の作成に当たり、担当課からいろいろと教えていただき、視察研修も行った。今はたたき台ができた段階で、9月1日に担当課と協議する。本当は、地域の諸団体や市議会議員とも意見交換を行いたいところだが、手順を踏んで、できるだけ多くの意見を聞いて、仕上げていきたい。

【太田会長】

年内ぐらいにまとめ、もう少しすっきりしたものを提出したいと思う。次の協議会からは、こちらを皆さんで目を通して、意見をもらい、整理していきたい。今日は第一段階ということで、皆さんからは、このような意見書を作って進んでいるというところを理解してもらえればよい。

○安全・安心分科会

【本多委員】

次の動きとして、町内会長協議会とタイアップしながら安全マップを作成するという意見が出たが、活動の範囲が広すぎて絞れない。これからも続くことなので、時代に合ったものを取り上げながらやっていければよいと思う。

○福祉分科会

【吉田義昭委員】

いきいき春日野ふれあいコンサートに関し、町内会長連絡協議会の特別部会の活動とすることについて報告する。ある程度、事業が地域に認知されたことや、実行委員会として体制が整ったこと、参加者の広がりが見られることなどから、特別部会の活動にしなければならないという課題の根本は解消されたと認識した。しばらく様子を見たい。

【谷委員】

今は目標に向かって体制を作っているが、その過程で、町内会長連絡協議会の方とも方法が変わるにしても、連携を取ることは可能かと思う。

今年は実行委員会を立ち上げ、運営することができた。来年の方法も大分固まり、具体化している。今回は市の関係者も大勢来てくれた。地域協議会委員も活動を見てみることで実態を理解し、何か違ったことを感じ取ることができる。このように関心を持っ

て行動しないと、ただ表面だけの言葉になってしまう。来年は6月25日土曜日、午後1時30分からの開催が決定している。ぜひ現委員の皆さんも、引き続き活動を盛り上げるためにもご理解とご協力をいただきたい。

【渡部委員】

春日区全域を対象とした事業なので、「いきいき春日」とするなど、名称を変更する予定はないか。そのような話は出ていないのか。

【谷委員】

名称は今のままで特段問題ないと思う。地域の方にもそれで迷惑はかからない。これからの活動の中で、方向性などの問題が出てくれば考える必要はあると思うが、今は名称にこだわるよりも、活動を地域に広めるということを最優先にしていきたい。

ただ、町内会長連絡協議会と連携する中で、関連性が出てくれば考えるが、今の段階では自主的に進めることができている。その辺はご理解いただきたい。

【太田会長】

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」を終了する。

次に次第3 議題「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【吉田義昭委員】

4年間、どのような調査をして活動してきたのか、分科会ごとに流れがわかるよう、まとめたものを作成してはどうかと思う。まとめる方法を事務局で提示していただきたい。

【渡邊係長】

昨年度までの分科会の資料を確認したが、必ずしも記録が十分あるとは言えない。地域協議会だよりも、分科会の動きを前の地域協議会だよりも繋がるように載せているというような認識である。

今回は、分科会の実績をまとめて記載する予定であり、過去の地域協議会だよりも整理してまとめる形になると思う。必要ということであれば時間をいただきたい。

【太田会長】

任期満了まで約半年あるので、意見書の協議と並行して、安全・安心と福祉の分科会

も今までの活動をまとめてはどうか。事務局と分科会リーダーで情報交換し、分科会の聞き取り調査の時間を設けることも必要だと思う。そのようなまとめをする時間を確保するために、このタイミングで一旦一区切りというような形にしておけば、次の委員の皆さんに今までの歩みを形に残せる。

他に意見はないか。

(発言無し)

意見が無いようなので、次第3 議題「(2) その他」を終了する。

次に、次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の地域協議会：9月19日（火）午後6時30分から 上越市市民プラザ（予定）

・内容：（自主的審議事項）春日山城跡の観光振興策について

【太田会長】

以上で次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」を終了する。

次に次第4「その他」の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

※閉会后、必要な分科会のみ、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。